

事務事業名	交通安全施設整備事業			事業コード	02070300501
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	廣部 光一
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	交通安全に資する工事
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の目的・事業の概要等	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図ります。				
	交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と、道路照明灯・防犯灯の維持管理を行います。				
	○光熱水費 17,583千円 ・道路照明灯、防犯灯の電気料 ○修繕料 4,847千円 ・照明灯、交通安全施設修繕料 ○委託料 1,212千円 ・道路照明灯維持管理委託料 ○工事請負費 8,498千円 ・照明灯、交通安全施設整備工事費				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	地元自治会と協議をしながら、交通安全施設の改修、維持修繕により、防災、交通安全対策上の生活圏の改善を図りたい。事業要望件数の地域格差の是正と平準化の検討をします。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	地元自治会との協議、立会いにより事業の執行を行っています。地域格差の是正については、緊急性の高い箇所から事業を行っていることから、計画的な整備に取りかかれていない状況です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の計画的な整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	緊急性の高い箇所から事業を行っていることから、計画的な整備に取りかかれていない状況です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	諸費	目	交通安全費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.21 人	8,222 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.21 人	8,222 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	8,222 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		8,222 千円	千円	千円	千円	千円				
	財源合計	8,222 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、交通の円滑化を図るため事業を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公安委員会との連携を密にし、道路管理者である市が実施する事業について取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	交通事故防止を一層推進します。特に児童生徒の安全確保を図るため、事業費の増加を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	道路パトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	市内交通事故死亡数	目標値	0	達成率 0	0	達成率 0
		実績値	6	---	6	10
成果	交通安全施設の修繕件数	目標値	70	達成率 160	100	達成率 100
		実績値	74	105.71	168	90
活動	交通安全施設の修繕件数	目標値	70	達成率 160	100	達成率 100
		実績値	74	105.71	168	90
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	道の駅管理運営事業			事業コード	06010800401
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小林 知晃
事業対象	道の駅利用者				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	道の駅の清掃及び設備管理に関する業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくにと道の駅さかいを管理運営する。

市内2箇所の道の駅の管理業務（道の駅みくに、道の駅さかい）を行う。

- 消耗品費 370千円
 - ・ トイレ、施設管理用消耗品費
- 光熱水費 2,700千円
 - ・ 電気料、上下水道料
- 修繕料 20千円
 - ・ 施設等修繕料
- 通信運搬費 110千円
 - ・ 電話料
- 委託料 4,884千円
 - ・ 道の駅維持管理委託料 他
- 使用料及び賃借料 213千円
 - ・ ケーブルテレビ利用料 他
- 負担金 60千円
 - ・ 近畿「道の駅」連絡協議会負担金

すぐのできる改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	施設の老朽化が進む中、限られた予算の中で利用者には不快感を与えないよう維持管理することができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	適正な管理により実行してきております。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.44 人	2,990 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.44 人	2,990 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,990 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			2,990 千円		千円		千円	千円		
財源合計			2,990 千円		千円		千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道の駅が地域活性化と安全運転に寄与する比重が高いことから事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域振興施設については、管理委託がなされているが、道路施設については道路管理者の管理が妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設利用者は増加傾向にありますが、当分は現状の予算規模にて運営を続ける努力をしていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小の人員で管理を行っていきます。			
すぐのできる改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理につとめていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	道の駅みくに利用者数	目標値	22.0	達成率 22.0	21.0	達成率 20.0
		実績値	未	---	22.4	21.2
活動	道の駅 施設点検回数	目標値	12	達成率 12	12	達成率 12
		実績値	12	100	12	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	土木総務諸事業			事業コード	08010100201		
所管部署	建設課		電話	50-3051		記入者名	小谷 嘉郎
事業対象	坂井市民 福井県民						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・河川・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。						
	県道路協会負担金、県港湾協会負担金、新九頭竜橋建設促進期成同盟会負担金などの国及び県との事業連携を図るために必要な負担金等の予算を計上する。						
事業の目的・事業の概要等	○旅費	89千円					
	・ 総会等旅費 他						
	○燃料費	20千円					
	・ 混合油						
	○食糧費	5千円					
・ 会議用膳							
○使用料及び賃借料	39千円						
・ 大型コピーリース料 他							
○負担金	712千円						
・ 県道路協会負担金 他							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	各種総会経費の削減に努めてきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	関係機関の総意による協会等の負担金の削減を目指します。		
目標年度 平成34 年度			
取組状況	年々、少しずつではありますが負担金の削減がなされてきています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	1,061千円	千円	千円	千円			
			役務費	127千円	千円	千円	千円			
			その他	1,665千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	2,853千円	千円	千円	千円			
	人件費		正職員	0.51人	3,465千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.51人	3,465千円	人	千円	人	千円	
	総事業費		6,318千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源			6,318千円	千円	千円	千円				
財源合計			6,318千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小の人員で質の高い事業に取り組みます。					
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	市内交通事故死者数	人	0	0	0	0
		達成率	0	0	0	0
成果	丸岡インター連絡道路改良率	%	0	6	10	11
		達成率	0	0	0	0
活動	日本港湾協会 総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
活動	福井県道路協会総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
			達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	県営事業負担金			事業コード	08010100501		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小谷 嘉郎		
事業対象	市民 県民 道路利用者						
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	市内県道の改良工事を促進させることにより、良好な道路ネットワークを整備し、市民の利便性の向上および産業の活性化を図ります。						
	福井県が実施する県道改良事業等にかかる事業費の一部を負担する。						

すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	61,864 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	61,864 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		63,902 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			23,175 千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		40,727 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		63,902 千円		千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ない。			
すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	県道での交通事故件数	目標値	150	達成率 150	達成率 200	達成率 200
		実績値	---	---	206	230
活動	県事業についての協議回数	目標値	4	達成率 4	達成率 4	達成率 4
		実績値	4	100	4	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【コスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	道路橋りょう総務事業			事業コード	08020100201		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小谷 嘉郎		
事業対象	坂井市民 道路通行者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
【事業の概要】	道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。						
	市道の用地取得費等の償還、市道借地借上料の支払及び道路台帳の管理を行う。						
【事業の目的・事業の概要等】	○委託料	4,574千円					
	・ 道路台帳更新・修正業務委託料	他					
	○使用料及び賃借料	8,660千円					
	・ 市道敷地借上料						
○公有財産購入費	3,914千円						
・ 市道真砂線（三国）	道路用地取得費（債務負担行為分）						
○補償金	20,000千円						
・ 市道真砂線（三国）	物件移転補償費（債務負担行為分）						

すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市道借地借上料の事務については、支払関係のデータベースが出来上がりました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路借地については、該当地区での地積調査の実施により大きな事務改善が期待できます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）			
	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？				A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？				A
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？				A
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？				A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）				A
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？				A
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？				A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう総務費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	4,757	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	38,643	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	43,399	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.65	人	4,417	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.65	人	4,417	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	47,816	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		47,816	千円	千円	千円	千円				
財源合計	47,816	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。					
すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						

【所属長評価】

【事業の成果】	成果	市道延長	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	785.9	達成率	780	達成率	770	達成率	750
	実績値	785.9	100	782.5		779.0		750.9				
	活動	道路台帳修正業務	単位	年度	目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値	4200	--	2048		2667		1365
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
実績値			達成率		達成率		達成率		達成率			

事務事業名	道路橋りょう維持事業			事業コード	08020200101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林 宏
事業対象	坂井市民・道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

○賃金 84千円
 ・ 清掃賃金
 ○消耗品費 120千円
 ・ 市道管理用消耗品費
 ○光熱水費 2,932千円
 ・ 照明灯・ポンプ等の電気料等
 ○修繕料 14,000千円
 ・ 市道修繕料
 ○通信運搬費 30千円
 ・ 跨道橋テレメータ一回線使用料
 ○委託料 19,652千円
 ・ 樹木管理委託料 11,500千円
 ・ 除草委託料 600千円
 ・ 踏切保安装置維持管理業務委託料 2,552千円
 ・ 道路施設維持管理委託料 5,000千円
 ○原材料費 1,250千円
 ・ 道路舗装補修剤、側溝蓋等

【事業のコスト】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	27,713	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	16,955	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	30	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	1,572	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	46,270	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	1.53 人	10,396 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.53 人	10,396 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	56,666	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			特定財源		国県支出金	5,665	千円	千円	千円	千円	千円
					使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	
					分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円	千円			千円	千円	千円				
その他	100	千円			千円	千円	千円				
一般財源	50,901	千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	56,666	千円	千円	千円	千円	千円					

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	街路樹に関する苦情件数	目標値	0	達成率 0	0	達成率 0	0	達成率 0
		実績値	5	---	10	---	8	---
成果	一般車両タイヤバンク件数	目標値	0	達成率 0	0	達成率 0	0	達成率 0
		実績値	0	---	4	---	3	---
活動	修繕件数	目標値	180	達成率 180	180	達成率 180	180	達成率 180
		実績値	175	97.22	182	101.11	171	95
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

すぐにできる改善提案	安心して通行できる道路状況を保持するため、日頃より道路パトロールを実施します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路管理強化のため、道路パトロールについての業務担当者を設置しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安心して通行できる道路状況を保持するため、日頃より道路パトロールを実施します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安全な道路状況を保持していくことは、道路管理者である市の責務であります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安全な道路状況を保持していくことは、道路管理者である市の責務であります。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	道路橋りょう維持事業については、道路の劣化が毎年進んできていることなどから事業費が嵩み、対処的な措置を行っている状況であります。今後は、道路維持予算の増加をしていく必要性に迫られています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補修の必要な箇所は増えている状況であるが、職員削減の大きな方向性の中において現状の人員で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

事務事業名	除雪対策事業			事業コード	08020200201		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	廣部 光一		
事業対象	坂井市民 道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	安全・安心対策の充実			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	機械による道路除雪および歩道除雪業務、消融雪施設の点検業務		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	有 道路除雪基本計画書、道路除雪実施計画書						
事業の概要	冬期間の積雪時における主要道路及び生活路線の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施します。						
	市が保有する除雪機械および民間保有の機械を使用し、道路および歩道の除雪を実施します。また、消雪パイプ等の消融雪施設も利用して冬期間の道路交通の確保に努めています。						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費 1,446千円 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪剤、タイヤチェーン等 ○光熱水費 8,255千円 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪装置運転に要する電気料、水道料 ○修繕料 9,441千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除雪機械および消融雪施設の修繕料 ○役務費 1,189千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除雪車の車検、特定自主検査手数料 他 ○委託料 67,219千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除雪業務委託料（機械管理費＋作業委託料＋待機補償費） 57,373千円 ・融雪装置点検業務委託料他 9,846千円 ○使用料及び賃借料 13,179千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除雪機械借上料 他 ○工事請負費 990千円 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪装置点検清掃工事費 ○その他 3,767千円 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当、公課費等 						

【事業の概要】

すぐに行ける改善提案	通学路や区道の除雪について、市民と行政の協働により迅速な除雪作業を検討していきたいと考えます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	学校周辺の歩道除雪については、PTAとの連携により除雪作業を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	多くの除雪路線について、市民と行政の協働により迅速な除雪作業を検討していかなければなりません。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円		千円		千円		千円	
			委託費	67,221 千円		千円		千円		千円	
			需用費	19,219 千円		千円		千円		千円	
			役務費	1,501 千円		千円		千円		千円	
			その他	14,713 千円		千円		千円		千円	
			事業費合計	102,654 千円		千円		千円		千円	
	人件費		正職員	1.15 人	7,814 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.15 人	7,814 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	110,468 千円		千円		千円		千円	
			国県支出金	5,200 千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
			地方債	千円		千円		千円		千円	
その他			78 千円		千円		千円		千円		
一般財源			105,190 千円		千円		千円		千円		
財源合計	110,468 千円		千円		千円		千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断理由	冬期の道路環境向上を図るため重要な事業と考えています。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断理由	市民の利便性と道路環境の向上のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断理由	厳しい財政状況のなか、最低限、現状のコストを保持していきます。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。					
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。					
目標年度 -- 年度						

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	市道の交通障害発生件数	目標値	0	達成率 0	0	達成率 0
		実績値	0	---	1	0
活動	除雪機械稼働時間	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	1933	---	9553	3351
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	道路改良事業			事業コード	08020300101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林 宏
事業対象	坂井市民・道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法 道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の目的・事業の概要等	市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。				
	道路改良工事、道路舗装工事の実施及び道路拡幅工事に伴う土地分筆業務を行う。 ○消耗品費 600千円 ・事務用消耗品費、工事発注用書籍、資料購入費等 ○委託料 5,478千円 ・H25新規採択予定路線概略設計委託料 2,000千円 ・分筆登記業務等委託料 他 3,478千円 ○使用料及び賃借料 653千円 ・工事積算システム使用料 ○工事請負費 120,000千円 ・市単独道路改良工事費 ○補償金 200千円 ・道路改良工事に伴う電柱移転等補償費				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	市民からの事業要望箇所が多数あるため、事業予算の拡大を図らなければ事業進捗は図れない状況であります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	限られた予算配分の中で、費用対効果の高い工法選定を行っています。
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			委託費	4,654	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			需用費	576	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	135,334	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			事業費合計	140,564	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費		正職員	2.60 人	17,667	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	千円
			人件費合計	2.60 人	17,667	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		158,231	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			158,231	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		158,231	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、交通の円滑化を図るため事業を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路管理者である市において、利用しやすい道路環境の整備を進めています。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民からの事業要望が多いため、現状の予算規模では要望にこたえられません。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおりの人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	市道での交通事故発生件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	未集計	---	---	154	---	139
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値	30.8	---	---	---	---	---
活動	用地買収事務	目標値	5	達成率	5	達成率	4	達成率
		実績値	7	140	5	100	5	125
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	区環境整備事業補助金			事業コード	08020300201		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	坪井 余次師		
事業対象	市内の自治会						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	区環境整備事業費補助金交付要綱					
関連計画	無						
事業の概要	行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。						
	同一会計年度内に1回（補助金の限度額200万円）補助する。 ○補助金 12,000千円 ・区環境整備事業費補助金						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	限られた予算の中で、市民の身近な道路・水路の環境整備に努力していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	8,143千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	8,143千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.97人	6,591千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.97人	6,591千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	14,734千円		千円		千円		千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		14,734千円		千円		千円		千円		
財源合計	14,734千円		千円		千円		千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く今後も市の支援が必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く今後も市の支援が必要と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助率50%については、市民の負担と市の財政状況を鑑み妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		

事業の成果	指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
	成果	補助金申請待機件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
				実績値	0	---	2	---	3	---	4	---
	活動	補助金支出件数	件	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値	16	---	9	---	9	---	15	---
	活動	補助金支出実績	千円	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値	8143	---	10905	---	13590	---	13964	---
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値									

事務事業名	末政・随応寺線道路改良事業			事業コード	08020300301
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林田 裕治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有 道路法・道路構造令				
根拠例規	無				
関連計画	無				

丸岡町市街地から春江町市街地を結ぶ幹線道路である末政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどによる渋滞が発生しているため、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童生徒の安全確保を図る。

◆末政・随応寺線道路改良事業

- ・全体延長 L=2,150m
- ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）
- ・全体事業費 2,050,000千円
- ・事業年度 H11～H30

【H24年度事業内容】

- ・高柳地係の道路改良完成
- ・北横地地係の宅地買収(136㎡)、建物補償(1棟)
- ・上記に伴う調査、鑑定等委託

○委託料 2,200千円

- ・土地建物鑑定評価委託料 500千円
- ・物件移転調査委託料 1,000千円
- ・分筆登記業務等委託料 700千円

○工事請負費 18,100千円

- ・道路改良工事費

○公有財産購入費 7,000千円

- ・土地購入費

○補償金 37,000千円

- ・建物移転補償費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費						
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	1,428	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	52,545	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	53,973	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.20	人	1,359	千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.20	人	1,359	千円	人	千円	人	千円	千円
			総事業費	55,332	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			特定財源		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
					使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
					分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	17,800	千円			千円	千円	千円	千円	千円			
その他	1,045	千円			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	36,487	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	55,332	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果 事業進捗率	%	目標値	40	達成率 38	35	達成率 35
		実績値	40	100	38	35
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30.8	---	---	---
活動 事業費	百万円	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30	---	80	160
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐにできる改善提案	地元等の調整を行っていき、事業の円滑な推進を行います。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	春江市街地と国道8号を接続する重要路線であり、事業は丸岡町地係の一部を残すのみとなっているため。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	残事業の内容に支障物件移転が多く含まれていることから、事業費の増加を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	上安田八丁線道路改良事業			事業コード	08020300701
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林田 裕治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	上安田八丁線は平成23年度末完成見込みの（都）川西国道線につながる市道であり、（都）川西国道線の開通後は交通量が増え、車両通行等の流れも変わるため、道路拡幅工事を行うことにより、混雑緩和を図る。				
	<p>◆上安田八丁線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長L=130m ・W=10m(車道3.5m×2、右左折レーン設置、歩道なし) ・全体事業費 73,000千円 ・事業年度 H23～H24 <p>【H24年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=130m 全体完成 <p>○工事請負費 53,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事費 ・国道8号情報ボックス移設工事費 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	地元等の調整を行っていき、事業を円滑に進めていけるように事業の推進を行います。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	2,090	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	27,626	千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	29,716	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.30	人	2,039	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.30	人	2,038	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	31,754	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	15,730	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	11,500	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		4,524	千円	千円	千円	千円					
財源合計		31,754	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業に着手しており、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	工事中の事故が生じないよう十分配慮し工事を実施します。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果 事業進捗率	%	目標値	39	達成率 5	達成率 -	達成率 -
		実績値	39	100	5	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30.8	---	---	---
活動 事業費	百万円	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30	---	---	---
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			事業コード	08020301201
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	吉川 敏浩
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	三国中学校に通じる新設道路（三国113号線）を整備することにより、地域住民の避難路の整備と防災空間の確保、災害対策の充実を図る。				
	<p>◆三国113号線道路新設改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長 L=340m ・W=9.25m(車道3.25m×2、歩道2.5m×1) ・全体事業費 164,000千円 ・事業年度 H23～H24 <p>【H24年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=280m 全体完成 ・ブール解体工事 <p>○工事請負費 134,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事費 100,000千円 ・ブール解体工事費 34,000千円 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	事業目的に副った工事の執行に取り組みます。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	事業目的に副った事業に取り組んでいます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	事業目的に副った工事の執行に取り組み、地域の安全を向上させます。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	29,400 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	29,400 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	1.00 人	6,795 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.00 人	6,795 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		36,195 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			36,195 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計			36,195 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	事業に着手しており、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の平成江24年度完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	事業目的に副った工事の執行に取り組みます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	防災道路の整備箇所	目標値	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	1
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	目標値		達成率		達成率
		実績値	30.8	---	---	---
活動	事業費	目標値	31	達成率	41	達成率
		実績値	29	93.55	41	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

事務事業名	宮領北部線道路改良事業			事業コード	08020301501
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内 孝治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計業務、工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

坂井町中心部から丸岡北部地域及び国道8号への幹線道路となる宮領北部線を整備することにより、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。

☆宮領北部線道路改良事業

- ・全体延長=1,143m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）
- ・全体事業費50,200千円 ・事業年度H23～H32
- ・認可延長L=494m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）
- ・認可事業費202,000千円 ・事業年度H23～H27

【H24年度事業内容】

- ・認可区域用地買収完了
- ・坂井町宮領地係 工事一部開始（交差点部）

○委託料 2,500千円

- ・分筆登記業務等委託料

○工事請負費 3,000千円

- ・道路改良工事費

○公有財産購入費 47,000千円

- ・土地購入費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費							
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度				
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	6,300	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	30	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	543	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	6,873	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費		正職員	0.50 人	3,398 千円	人	千円	人	千円	人	千円		
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円		
			人件費合計	0.50 人	3,398 千円	人	千円	人	千円	人	千円	千円	
			総事業費	10,271	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費	特定財源	国県支出金	3,300	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
					使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	分担金・負担金	千円			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	2,700			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円	千円			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	4,271	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	10,271	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	事業進捗率	%	目標値	14.8	達成率	—	達成率	—	達成率
			実績値	14.8	100	—	—	—	—
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値	30.8	—	—	—	—	
活動	事業費	百万円	目標値	30	達成率	—	達成率	—	達成率
			実績値	30	100	—	—	—	—
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

すぐにできる改善提案	地元等の調整を行っていき、事業の円滑な推進を行います。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	地元説明会を関係係ごとに定期的に実施し、道路計画への理解を深めるとともに、地元意見を聴取してできる限り設計に反映できるようにしています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	A
	B. 少し薄れている	
	C. 薄れている	
【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である	A
	B. あまり妥当でない	
	C. 妥当でない	
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない	A
	B. 多少偏っている	
	C. 偏っている	
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない	A
	B. 検討の余地あり	
	C. できる	
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない	A
	B. 検討の余地あり	
	C. できる	
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	A
	B. 検討の余地あり	
	C. 見直すべき	
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である	A
	B. あまり順調でない	
	C. 順調でない	
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	A
	B. 検討の余地あり	
	C. 見直すべき	
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない	A
	B. 検討の余地あり	
	C. できる	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	事業に着手しており、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	—	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	—	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐにできる改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	新聞朝陽線道路改良事業			事業コード	08020301601		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	池本 成輝		
事業対象	坂井市民 道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	安全・安心対策の充実			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工		
根拠法令	有	道路法・道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	新聞朝陽線は平章小学校の指定通学路であるため、歩道整備を行うことにより、通学児童及び園児の安全確保を図る。						
	平成23年度において、予定通り事業を完成した。 事業内容 事業期間 平成21年度から23年度 延長 540m 歩道幅員 2.0m						

すぐにできる改善提案	事業は計画どおり完成しました。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	事業は計画どおり完成しました。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A		
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない		A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている		A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A		
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる		A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき		A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A		
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき		A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる		A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	13,140 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	13,140 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			人件費							
			正職員	0.41 人	2,786 千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
	人件費合計	0.41 人	2,786 千円	人	千円	人	千円			
	総事業費		15,926 千円		千円		千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	7,205 千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円			
地方債			5,600 千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			3,121 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		15,926 千円		千円		千円				

事業の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
すぐにできる改善提案	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	事業は計画どおり完成し、当初の目的を達成しました。			
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果 改良進捗率	%	目標値	100	達成率 75	達成率 --	達成率 --
		実績値	100	100	75	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30.8	--	--	--
活動 道路改良工事額	百万円	目標値	13	達成率 30	達成率 16	達成率
		実績値	13	100	30	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	木部通学道線道路改良事業			事業コード	08020301701
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小林 知晃
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

木部通学道線は木部小学校の指定通学路であるため、歩道整備を行うことにより、通学児童及び園児の安全確保を図る。

◆木部通学道線道路改良事業
(歩道)
・全体延長 L=640m
・W=12m (車道3.5m×2、歩道2.5m×1~2)
・全体事業費 85,000千円
・事業年度 H21~H25

【H24年度事業内容】
・歩道改良部の舗装及び車道部の舗装 L=160m

○工事請負費 2,600千円
・道路改良工事費

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	地元等の調整を行っていき、事業の円滑な推進を行います。	
目標年度 平成25 年度		
取組状況	地元との用地交渉についても特に問題なく、事業を円滑に進行することができました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費						
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	20,111 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	20,111 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.40 人	2,718 千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.40 人	2,718 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		22,829 千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	11,000 千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
			地方債	8,500 千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源			3,329 千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計		22,829 千円	千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	用地の取得が完了し、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状どおり工事担当者により事業を継続していきます。			
すぐにできる改善提案	地元等の調整を行っていき、事業を円滑に進めていけるように事業の推進を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果 事業進捗率	%	目標値	70	達成率 48	25	達成率 --
		実績値	70	100	48	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	30.8	---	---	---
活動 事業費	百万円	目標値	20	達成率 20	20	達成率 --
		実績値	20	100	20	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	加戸8号線道路改良事業			事業コード	08020301801
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小林 知晃
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	加戸8号線は加戸小学校の指定通学路であるため、歩道の整備を行うことにより、通学児童の安全確保を図る。				
	<p>◆加戸8号線道路改良事業（歩道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長 L=820m ・W=9.5m（車道3.5m×2、歩道2.5m×1） ・全体事業費 115,000千円 ・事業年度 H21～H25 <p>【H24年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道改良 L=380m <p>○工事請負費 27,600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事費 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	地元等の調整や用地の取得は終了しているため、工事の推進を行います。	
目標年度 平成25 年度		
取組状況	地元との理解と協力のもと工事の推進を円滑に行うことができました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。	
目標年度 平成25 年度		
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	25,037 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			事業費合計	25,037 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費		正職員	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		27,075 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	13,750 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	10,600 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			2,725 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		27,075 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業のコスト

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	平成25年度の事業完了に向けて今後も事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	今後も担当者により事業を推進します。			
すぐにできる改善提案	地元等の調整や用地の取得は終了しているので、工事の推進を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度の事業完了にむけて事業を推進していきます。			
目標年度 平成25 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
事業進捗率		%	目標値	56	達成率	36	達成率	25	達成率	--	達成率
			実績値	56	100	36	100	25	100	--	---
市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合		%	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	30.8	---	--	---	--	---	--	---
事業費		百万円	目標値	20	達成率	20	達成率	20	達成率	--	達成率
			実績値	20	100	20	100	20	100	--	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事業の成果

事務事業名	河川総務諸事業			事業コード	08030100201		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小谷 嘉郎		
事業対象	坂井市民、関係地域住民						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						

【事業の概要】

河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。

磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。

○賃金 1,817千円
 ・磯部川、片川水門管理人賃金
 ・河川管理清掃人夫賃
 ○需用費 299千円
 ・光熱水費 他
 ○委託料 842千円
 ・田島川、間島川水門管理委託料
 ・河川維持管理委託料
 ○工事請負費 2,100千円
 ・大谷川、大滝川沈砂池浚渫工事費
 ○負担金 2,391千円
 ・九頭竜川水系水防演習負担金 他
 ○補助金 2,762千円
 ・地域をつなぐ河川環境づくり推進事業費補助金

すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	大幅な、事務改善余地はありませんが、事業のコストダウンに努めてきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協働による河川環境の維持に取り組んでまいります。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	679千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	274千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	5,547千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	6,499千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	1.04人	7,067千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.04人	7,067千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	13,566千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			国県支出金	3,324千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			1,115千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			9,127千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	13,566千円	千円	千円	千円	千円	千円					

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	河川に関する苦情件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	8	---	8	10	10	
活動	河川管理委託料	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	678	---	656	725	729	
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、豊かな生活と産業発展を実現する安全な地域づくりを進めるため事業の推進に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のため、市が国県へ働きかけていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、サービス水準等の維持に努めてまいります。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	河川に関する苦情件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	8	---	8	10	10	
活動	河川管理委託料	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	678	---	656	725	729	
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		